

4. 産業界との連携

横幹連合と産業界とが連携する仕組みとして、企業を会員とする横断型基幹科学技術推進協議会（略称 横幹技術協議会）が、2004年5月に発足した。横幹技術協議会の設立趣意書は Fig.1 のとおりである。

「横断型基幹科学技術推進協議会（横幹技術協議会）」設立趣意書

2003年4月7日、我が国40の学会の連合体である「横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合、会長：吉川弘之）」が誕生した。

これまで科学技術は際限ない細分化の道を辿って発展してきた。科学という言葉が「分科学」という言葉に由来していることから明らかなように、分科、すなわち細分化による専門性の深まりなくして科学技術の進歩はない。細分化は科学技術の宿命と言ってもよい。しかし現代のように極端に分科し細分化しすぎた科学技術の弊害も顕著になってきている。ある規範で最適に設計したつもりが、グローバルにみると最適でなかったり、場合によっては最悪になったりする例は、環境問題だけではなく多くの人工物やシステムによく見受けられる。このまま、細分化の一途を辿ったとき、科学技術は社会がそれを真に享受できるようなものになっていくかどうかはきわめて疑問であろう。場合によっては社会に悲惨をもたらす結果となる可能性も否定できない。

科学技術の発展の過程で細分化とならんで、個々の規範に共通する普遍性を取り出しそれにもとづいて個々の規範を結びつける枠組みを作り上げる努力もこれまでなされてきた。細分化の方向をタテの深まりとすれば、こちらは横の広がりである。科学技術の発展はこのようなタテと横の2次元の世界で行われてきたことを認識するのは重要なことである。科学技術におけるこの第二の次元をわれわれは「横断型基幹科学技術（横幹科学技術）」と名づけた。タテの細分化が極限に達した現代において横幹科学技術の重要性は明らかである。横幹科学こそが現代の技術を真に駆動する力であり、人間生活に価値をもたらす源泉であり、そして科学技術と人間・社会の調和をもたらすための知のよりどころである。

これまでの学会が学問の細分化に対応して生まれてきたものであるのに対して、今春生まれた横幹連合はそれとは全く逆の横の統合を目指す学会の連合組織である。いわば既存学会を横の基幹で貫いた連合体であって、総合的な学問体系、総合的な技術と俯瞰的な視座をもった設計論の確立をめざしている。これまで学会は分裂することはあっても、このように工学のみならず経営や統計、心理やデザインなど文理にまたがる大規模な分野で結集し、実問題の解決を指向することはなかった。つまり、このような意味で、横幹連合は極めてユニークな画期的な学会と言えよう。

従って、この横幹連合が、行うべきことは経緯からも明らかなように、「新しい設計論の確立」と共に「新しい時代の要請に対する俯瞰的、融合的対応」である。

さて、20世紀の反省をふまえ21世紀におけるわが国産業の発展を図るためには、新たな視点からの発想が必要である。それは、21世紀の社会ニーズを積極的にかつ先行的に捉えて、これに対応するシステムを果敢に提案し試行し、新しいシステム、製品、サービスを日本から生み出してゆく活動である。これは新しい社会システムの提供であり、従って自然科学の中での融合のみならず社会科学、人文科学をも含めた総合的、融合的思考からこそ発現され、検証されるべきものであろう。まさに横幹的思考を必要としている。

また、新技術の開発では、新たな横幹的思考が、これまでの常識を破る新しい技術を発現させ得る可能性も実証されてきており、ここでも日本が遅れをとることは許されない。

これらの実現には、これが新しい活動であるが故に、産学官が認識をひとつにして役割を分担し、協調し、挑戦してゆく必要がある。

このための組織として「横幹技術協議会」の設立を提案する。横幹連合に結集する知を生かし、産学でこれを産業に直結させる戦略を議論し実的なソリューションを検討、計画する最初の舞台である。

我が国が繁栄するためには、産学官が力に溢れていなければならない。現在、昔年の活力を欠いているが、それは現在、かつて我国に活力をもたらしていた方法論が破綻し、それにかわるパラダイムを欠いている状況にあるだけで、再び活力を取り戻す素地は十分にある。しかし、現状を変革する戦略も方法論も欠いている。今こそ「横断的」「俯瞰的」「融合的」視座をもって学問や技術を見直し、文理の枠を超えて産学を横断する新たな「場」を設け、新しい時代に対応して行こうと思う。

「横幹技術協議会」は、横幹連合を支援し、産学一体となって、そこでの学問的な営みを新産業の創出、新たなソリューションにつなげる枠組を構築することを目的として結成される。

「横断、融合のパラダイムによって日本に新しい活力を蘇らせる」この協議会への、皆様方のご賛同ご参加を心から期待する次第である。

設立発起人代表（前総合科学技術会議議員） 桑原 洋
横断型基幹科学技術研究団体連合会長 吉川 弘之

Fig. 1 横幹協議会設立趣意書

この趣意書の下に、具体的な活動が Fig. 2 のとおり立案された。この図に示すように、ここでは、主として、二つの活動、すなわち、プロジェクト活動と横幹技術フォーラムを実行することとなった。

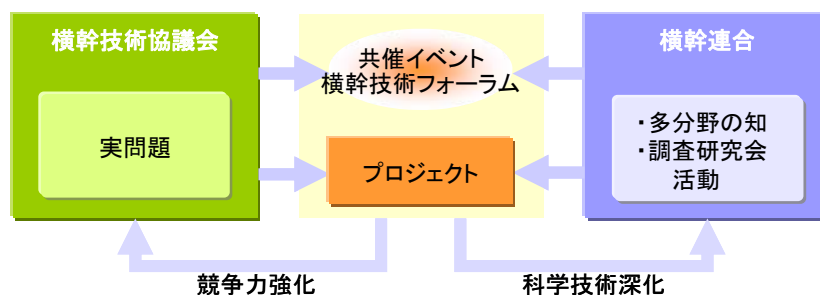


Fig. 2 横幹連合と横幹技術協議会との連携関係

(1) プロジェクト活動

プロジェクト活動としては、会員企業が個別にコンサルテーションや課題解決などのサービスを受ける個別プロジェクトと会員企業が共通して関心をもつ課題を取上げて調査研究活動を行う共通プロジェクトを定義した。

2005年には、個別プロジェクトのための推進手順と契約文書を定め、4件のフェージビリティスタディを実施し、さらに、個別プロジェクトが具体的に推進された。

一方、共通プロジェクトについては、2007年に「企業内SNS」（主査：電通大・太田敏澄教授）が設置され、SNSを活用する情報通信、保険、総合電機などの先進企業の実地調査を行い、情報学、経営学、組織論など多面的な観点からの分析がなされた。この結果は、科学研究費課題としても発展した（Fig. 3）。

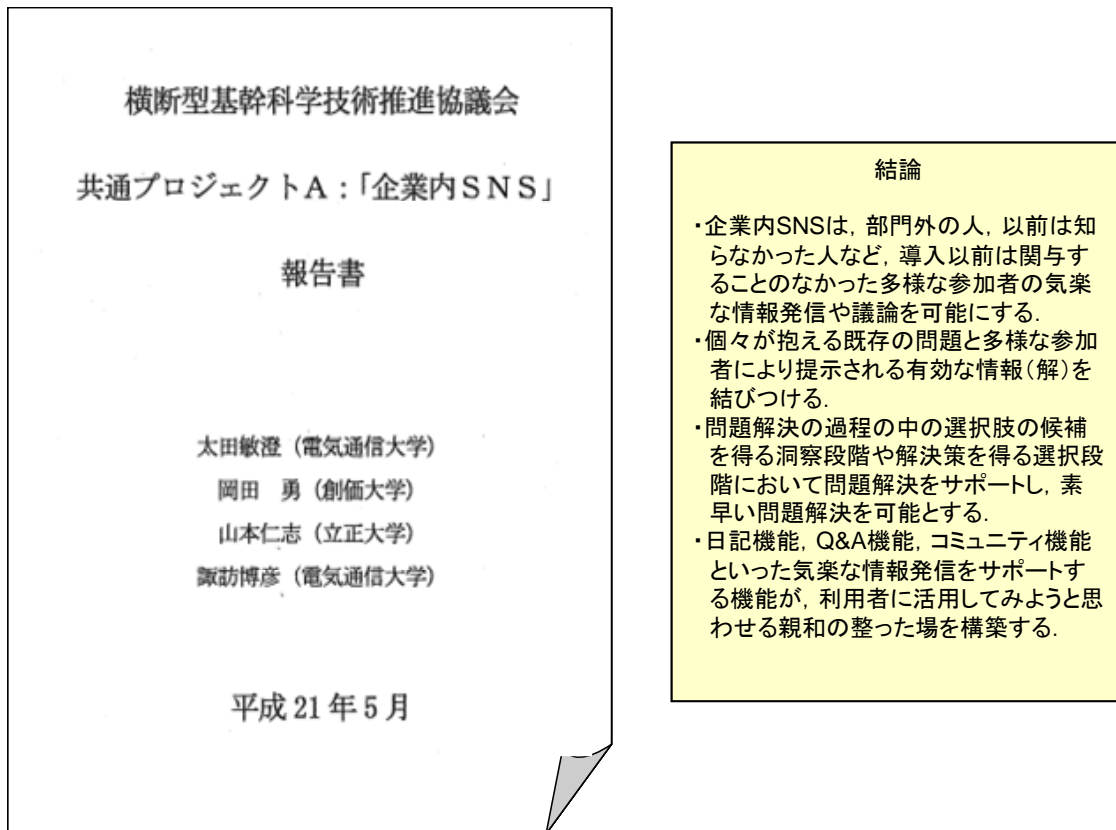


Fig. 3 横幹技術協議会共通プロジェクト「企業内 SNS」

横幹技術協議会のプロジェクトにはならなかったが、協議会の要請を受けて、横幹連合に調査研究会を設置した準共通的なプロジェクトとして、経営高度化がある。2008年8月に、横幹連合と横幹技術協議会との幹部が話し合い、後に述べる技術フォーラムを4回にわたり開催して先行研究を収集し、2010年1月から横幹連合に調査研究会「知の統合による経営高度化」（主査：当時電通大・松井正之教授）が発足した。ここでは、準備段階における企業実務家との議論を踏まえて、「シナリオ経営」グループ（リーダー：統数研・椿広計）と「クラウド時代の企業業績評価」グループ（リーダー：当時電通大・松井正之）が取組んだ。この取組みは、現在も調査研究会「リスクマネジメントと経営高度化」（主査：千葉工大・森雅俊）に引き継がれている（Fig.4）。

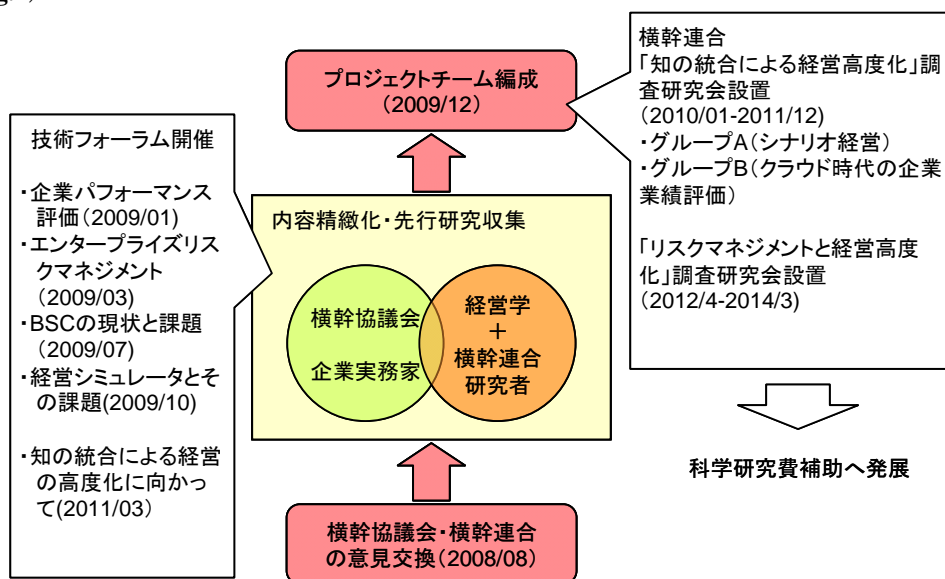


Fig.4 経営高度化への取組み

現在は、横幹技術協議会の活動を牽引することを狙いとして協議会の中に実行委員会が組織されて、新たな共通プロジェクト活動の探索が進められている。

(2) 技術フォーラム

会員企業の関心の高いテーマについて、年間6回ほどを目標に、討論会が開催されてきている。第1回を2004年7月に開催して以来、現在までに37回のフォーラムが開催された。これまでに開催されたフォーラムのマップを Fig.4 に、一覧を Table.1 に示す。

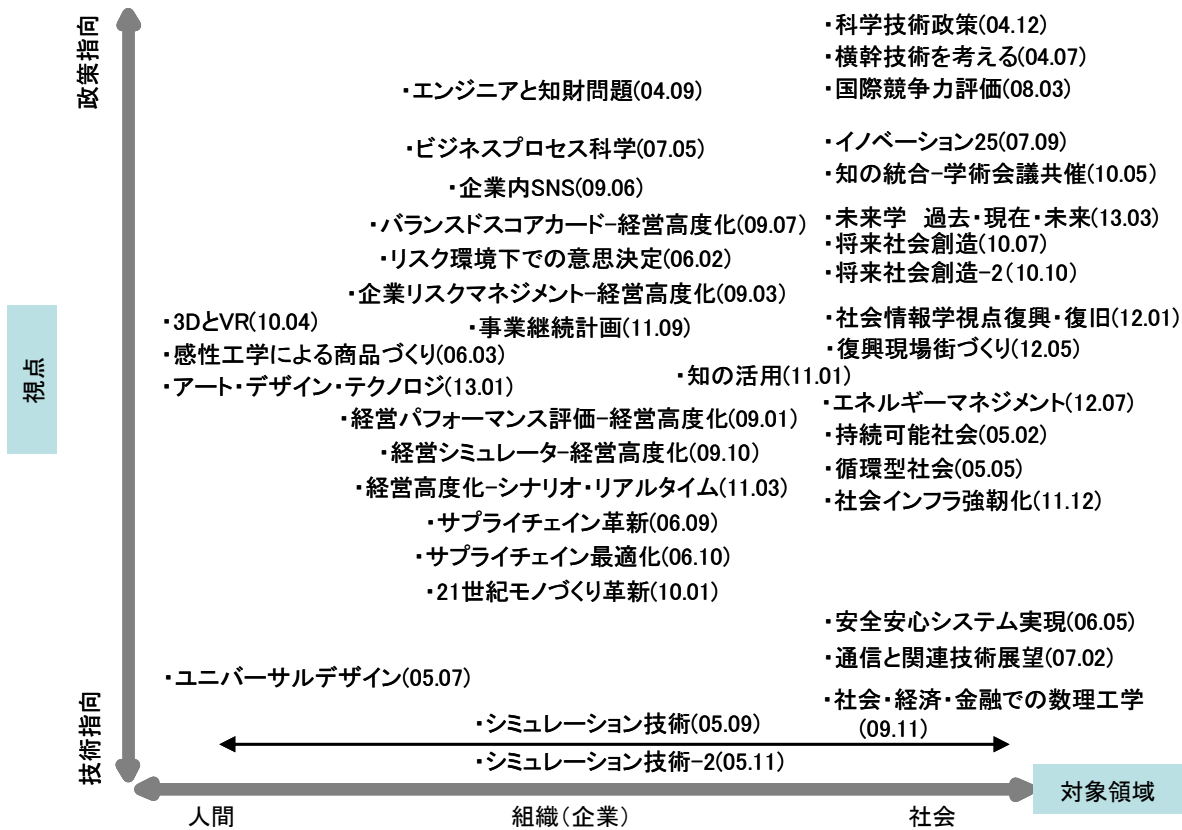


Fig.4 技術フォーラム (2004年7月～2013年3月)

Table 1 技術フォーラム内容一覧

回数	テーマ	開催日
第1回	<p>横幹技術を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> 第1部 対談 “横幹技術とは何か、今なぜ横幹技術か?” 桑原洋 (日立マクセル(株)、横幹技術協議会会長) 吉川弘之 ((独)産業技術総合研究所、横幹連合会長) 司会 舘 暲 (東京大学、横幹技術協議会副会長) 第2部 講演 “私が考える横幹技術：日本の産業力強化に向けて” 学側講演 木村英紀 (理化学研究所、横幹連合副会長), 鈴木久敏 (筑波大学) 産側講演 林利弘 ((株) 日立製作所), 山本 修一郎 ((株) NTT データ) 総合討論 司会 原辰次 (東京大学) ご挨拶 田中敏 (文部科学省 研究振興局 研究環境・産業連携課課長) 	2004.7.14
第2回	エンジニアと知財問題	2004.9.20

	<ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶：桑原 洋（日立マクセル(株), 横幹技術協議会会長） ・今野浩（中央大学,横幹連合知財問題委員会委員長）：横幹連合 知財問題委員会の報告 ・馬場錬成（ジャーナリスト）：知財立国と知財制度改革 ・渡部俊也（東京大学）：技術者と知財制度 ・鮫島正洋（弁理士・弁護士, 内田・鮫島法律事務所）：「職務発明」規定をめぐって ・隅蔵康一（政策研究大学院大学）：「試験研究の例外」規定をめぐって ・閉会挨拶：木村英紀（理化学研究所, 横幹連合副会長） 	
第3回	<p>科学と技術、そして横断型基幹技術の役割と重要性を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原 洋（横断型基幹科学技術推進協議会 会長） ・有本建男（文部科学省科学技術・学術政策局長）：21 世紀科学技術政策の展望 ・柘植綾夫（三菱重工業常務取締役技術本部長）：価値創造型もの創り立国ニッポンに貢献する産学官連携の構築 ・常深康裕（日立総合計画研究所主管研究員）：技術進化における技術のゲノム性に関する考察（仮題） ・コメントと総合討論：舘 暉（東京大学大学院情報理工系研究科教授） ・閉会あいさつ：桑原 洋 	2004.12.15
第4回	<p>持続可能な社会と産業界の役割を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋（日立マクセル(株)取締役会長、横幹技術協議会会長） ・山本良一（東京大学生産技術研究所教授）：持続可能な社会をデザインする ・石井威望（NTT ドコモ(株)モバイル社会研究所所長）：IT の持続的発展可能な社会・企業・個人の条件 ・札野 順（金沢工業大学基礎教育部教授）：科学技術者と倫理—— 組織の中の科学技術者 ・閉会あいさつ：木村英紀（(独)理化学研究所 BMC 研究センターチームリーダー、横幹連合 副会長） 	2005.2.16
第5回	<p>循環型社会への産業界の課題を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋（日立マクセル(株) 取締役会長、横幹技術協議会 会長） ・安井至（国際連合大学 副学長、東京大学生産技術研究所 客員教授）：循環型社会構築への課題 ・中村慎一郎（早稲田大学 政治経済学部 教授）：日本型持続可能経済と 3R ・小島賢次（(株)リコー MFP 事業本部 リサイクル事業センター長）：OA・事務機器の循環システム 複写機の 3R 事業 ・佐藤和広（帝人ファイバー(株) 原料重合事業部 原料重合営業グループ長）：循環型 PET ボトル to PET ボトル ・松井貞（花王(株) 環境・安全推進本部 部長）：トイレタリー産業の環境への取り組み ・コメントと総合討議 ・閉会あいさつ：木村英紀（(独)理化学研究所 BMC 研究センター チームリーダー、横幹連合 副会長） 	2005.5.11
第6回	<p>ユニバーサルデザインの考え方とその応用～人にやさしい機械とするための HMI とは何か？～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ 	2005.7.13

	<ul style="list-style-type: none"> ・鎌田 実 (東京大学大学院 教授)：ユニバーサルデザインを考える ― 概念と応用 ― ・平松金雄 (日本自動車研究所 主席研究員)：自動車とヒューマンインターフェイス」 ・田中敦(株) ザナヴィ・インフォマティクス)：カーナビにおける HMI デザインの実践的アプローチ ・酒寄映子 (三菱電機(株) デザイン研究所)：電機製品の開発におけるユニバーサルデザインの取組み ・田中兼一 (日産自動車(株) 先行車両開発部)：ユニバーサルデザインの自動車 HMI への適用例 [パネルディスカッション] ・閉会あいさつ 	
第 7 回	<p>シミュレーション技術の役割と重要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：木村英紀 (横幹連合 副会長) ・矢川元基 (東洋大学)：“ものづくり”のためのスーパーコンピューティング ・大島まり (東京大学)：生体力学シミュレーションと医学応用への試み ・寺野隆雄 (東京工業大学)：社会システムのエージェント・シミュレーション ・森下信 (横浜国立大学)：計算科学技術のための創発的手法の動向 ・椿広計 (筑波大学)：技術開発促進と数値シミュレーション ・パネルディスカッション：シミュレーション技術の産業界での活用 パネラー：講師陣、石井 芳 (日産自動車(株))、北野 誠 ((株)日立製作所) ・閉会あいさつ： 桑原 洋 (横幹技術協議会 会長) 	2005.9.21
第 8 回	<p>バイオとナノシミュレーション技術の最先端</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：木村英紀 (横幹連合 副会長) ・寺倉清之 (北海道大学)：ナノテクシミュレーションの現状と課題 ・大野隆央 (物質・材料研究機構)：ナノ物質の物性・機能解析シミュレーション ・高野直樹 (立命館大学)：生体硬組織のイメージベース・マルチスケール・シミュレーション ・岡本祐幸 (名古屋大学)：バイオシミュレーションのための拡張アンサンブル法 ・パネルディスカッション パネラー：講師陣，モデレーター：矢川元基 (東洋大学) ・閉会あいさつ： 桑原洋 (横幹技術協議会 会長) 	2005.11.14
第 9 回	<p>リスク環境下での事業意思決定技術</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：木村英紀 横幹連合 副会長 ・椿 広計 (筑波大学 教授、統計数理研究所 リスク解析戦略研究センター長)：リスク定量化の重要性― 現状と今後 ・中島厚志 (みずほ総合研究所 チーフエコノミスト)：日本経済をとりまくリスク ・藤井真理子 (東京大学 先端科学技術研究センター 教授) 戦略的意思決定とリアル・オプション ・佐々木敏郎 (日立製作所 システム開発研究所第 1 部部长)：リアルオプションに関する企業事例 ・総合討論：事業リスクを乗り越える新たな方法論の展開に向かって ・閉会あいさつ： 桑原 洋横幹技術協議会 会長 	2006.2.3

第 10 回	<p>感性工学が拓く新時代の商品</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：木村英紀 横幹連合 副会長 ・清水義雄（信州大学 繊維学部 感性工学科 教授）：現代社会における感性工学の役割 ・小阪裕司（オラクルひと・しくみ研究所 代表）：主観と客観の往還による知識創造 ・加藤俊一（中央大学 理工学部 教授）：感性の工学的モデル化の現状とその応用 ・坂井直樹（コンセプター、ウォーターグループ 代表）：データベースによる感性のプロファイルとその応用 ・美記陽之介（日産自動車 実験技術開発部 主担）：感性工学を応用した商品開発 ・総合討論：感性工学に対する産業界の期待 ・閉会あいさつ：桑原 洋 横幹技術協議会 会長 	2006.3.30
第 11 回	<p>安全安心システム実現への挑戦～安全・安心：地震からプラント、航空機まで～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：木村英紀 横幹連合 副会長 ・清水久二（横浜国立大学名誉教授）：安全・安心社会における安全工学の役割 ・杉原義得（電子情報技術産業協会（JEITA）特定プロジェクト推進室担当部長）：ゆれる前に地震を知る技術－IT 自動防災システム ・赤井創（横河電機 IA 事業部システム事業センター 安全システム部長）：プラントの安全計装 ・鳥居誠（横河電機 航機事業部航空宇宙事業センター長）：航空機コックピットディスプレイシステムの信頼性概観 ・総合討論：安全安心システム実現への産業界の果たす役割 ・閉会あいさつ：桑原洋 横幹技術協議会 会長 	2006.5.16
第 12 回	<p>サプライチェーン革新による競争力向上～《シリーズ 1》企業の抱える課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋 横幹技術協議会 会長 ・関根史磨（花王（株） ロジスティクス部門開発グループ部長）：花王の SCM 活動 ・前田雅之（日産自動車（株） SCM 企画部長）：日産 SCM の挑戦 ・九野伸（（株）日立製作所 情報・通信グループトレーサビリティ・RFID 事業部 事業開発部長）：IC タグの動向とロジスティクス分野への応用 ・山田健（（株）日通総合研究所 経営コンサルティング部長）：サードパーティ・ロジスティクスの現状と課題 ・閉会あいさつ：江尻正員 横幹連合 副会長 	2006.9.19
第 13 回	<p>サプライチェーン革新による競争力向上～《シリーズ 2》学からの挑戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋 横幹技術協議会 会長 ・久保幹雄（東京海洋大学 海洋工学部 助教授）：ロジスティクスにおける最適化技術の展望 ・曹徳弼（慶応義塾大学 理工学部 教授）：社会調和共進型 SCM ・宮田秀明（東京大学 工学系研究科 教授）：全体最適経営のための価値連鎖物流～経営の設計学 ・パネル討論「サプライチェーンの革新に向けて」関根史磨（花王（株））、前田雅之（日産自動車（株））、九野伸（（株）日立製作所）、山田健（（株）日通総合研究所）、久保幹雄（東京海洋大学）、曹 徳弼（慶応義塾大学）、宮 	2006.10.31

	<p>田秀明 (東京大学), 鈴木久敏 (筑波大学)</p> <p>・閉会あいさつ: 木村英紀 横幹連合 副会長</p>	
第 14 回	<p>通信とその関連技術の連携と展望～ ビジネスのキーインフラとしての通信を活かすために ～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・桑原洋 横幹技術協議会 会長 (日立マクセル(株) 取締役会長): わが国産業の進路とイノベーション ・福島正夫 (日産自動車(株) 技術開発本部 IT&ITS 開発部 企画グループ 主管): 通信技術を活用した交通安全と渋滞緩和対策～日産自動車の取り組み～ ・工藤拓 (グーグル(株)): Google を支える大規模分散システム ・鶴原稔也 (ドコモ・テクノロジー(株)知的財産部長): 標準化・知的財産と通信 <p>・閉会あいさつ: 木村英紀 横幹連合 副会長</p>	2007.2.21
第 15 回	<p>ビジネスプロセスを科学するー可視化・モデル化・最適化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ: 桑原洋 横幹技術協議会 会長 ・新井民夫 (東京大学): サービスのプロセスと顧客満足度～『サービス工学』に基づくビジネスプロセス表現～ ・中谷多哉子 (筑波大学): ビジネスプロセスのモデル化技術: ビジネスプロセスアウトソーシングの可能性を可視化する ・白井宏明 (横浜国立大学): 経営と情報システムのギャップを埋めるユーザ参加型モデリング ・平井愛山 (千葉県立東金病院): 医師不足自治体の地域医療のあり方ー人材育成と医療連携が新たなビジネスモデルにー <p>・閉会あいさつ: 木村英紀 横幹連合 副会長</p>	2007.5.15
第 16 回	<p>知の統合と横幹技術は産業活性化にどのように活かせるか～日本のイノベーション力強化策を探る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ: 柘植綾夫 (横幹技術協議会副会長,前総合科学技術会議議員) ・黒川 清(内閣特別顧問,政策研究大学院教授): イノベーション 25 戦略の概要と今後の作戦 ・木村英紀 (横幹連合副会長,前日本学術会議 科学者コミュニティと知の統合化委員会幹事): 学術会議対外報告「知の統合ー社会のための科学技術に向けてー」と社会・経済的価値創造への展開 ・出口光一郎 (横幹連合 理事,東北大学教授): H18 年度内閣府科学技術総合研究委託「イノベーション戦略に係る知の融合調査」報告と産業活性化への展開 ・総合パネル討論会: モデレーター 柘植綾夫, パネリスト講師 3 名に加えてコメンテーター 2 名(岩橋良雄: 新日鉄ソリューション副社長,中村道治: 日立製作所 フェロー) <p>・閉会あいさつ: 江尻正員 (横幹連合 副会長)</p>	2007.9.4
第 17 回	<p>日本産業の国際競争力評価と企業経営の高度化～産業・技術のイノベーションと国際競争～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中村道治 ((株) 日立製作所 フェロー): 横幹連合に期待する企業経営高度化基盤の構築 ・佐藤文昭 (メルリリンチ日本証券(株) 投資銀行部門 副会長): 国際企業競争の現実: これまでの経過とこれからの日本産業の展望 ・湯之上隆 (同志社大学技術・企業・国際競争力センター COE フェロー): 日本半導体産業の技術競争力、企業競争力を分析 	2008.3.13

	<ul style="list-style-type: none"> ・高森寛(千葉商科大学大学院 政策研究科 客員教授)：経営高度化への可能性：リアルオプション・モデルと戦略について ・閉会あいさつ：中村道治 	
第18回	<p>シリーズ：経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第1回企業パフォーマンスを評価する～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶：桑原洋(横幹技術協議会 会長) ・白田 佳子 (筑波大学教授、日本学会協議会会員)：財務データ及び非財務データによる「危ない会社」の評価方法 ・鈴木督久 (日経リサーチ取締役)：日経プリズムにおける「優れた会社」の評価方法 ・角埜恭央 (東京工科大学教授)：ソフトウェア産業におけるコア・コンピタンスと経営パフォーマンスの因果構造 ・パネル討論：経営評価と経営設計の方法論：経営の高度化と経営科学の実質化を目指して ・閉会あいさつ：木村 英紀 (横幹連合 会長) 	2009.1.7
第19回	<p>シリーズ：経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第2回 エンタープライズリスクマネジメント～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶：桑原 洋 (横幹技術協議会 会長) ・刈屋武昭 (明治大学大学院グローバルビジネス研究科長)：エンタープライズリスクマネジメントの新たな潮流 ・中岡英隆 (首都大学東京経営学系教授)：リアルオプションによる資源開発事業評価とERM ・パネル討論と総合質疑：刈屋武昭，中岡英隆，椿広計 (司会) ・閉会あいさつ：木村 英紀 (横幹連合 会長) 	2009.3.30
第20回	<p>SNSが切り拓くバリアフリー・コミュニケーション ～企業内SNS最先端の活用事例～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・山本修一郎 (㈱NTTデータ技術開発本部システム科学研究所)：SNSが変える企業内コミュニケーション ・青木聖子 (㈱損害保険ジャパン)：SNSで縦横無尽なコミュニケーションを実現！ ・神部知明 (㈱富士通ソフトウェアテクノロジーズ)：富士通グループでのSNS活用状況紹介 ・宮内興治 (日本ビューレットパッカード㈱)：情報共有ポータルCollaboの利用状況の質的調査 ・太田敏澄，諏訪博彦 (電気通信大学)：共通プロジェクトA『企業内SNS』の調査結果報告 ・パネル討論と総合質疑 ・閉会あいさつ：木村英紀 (横幹連合 会長) 	2009.6.3
第21回	<p>シリーズ：経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第3回 BSC(バランスト・スコアカード)の現状と課題～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ：桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・伊藤和憲 (専修大学商学部教授)：循環型マネジメント・システムとしてのBSC ・松尾浩一 (シャープ株式会社経営企画室 eS-SEM 推進 PT 副参事)：シャープ株式会社のBSC導入事例～個と組織の戦略実行力をスパイラルに高める～ 	2009.7.31

	<ul style="list-style-type: none"> ・安海栄幸 (SAS ジャパンビジネス開発本部 PM ビジネス開発部 担当マネージャ) : 「見える化」から「予測」まで～戦略的な意思決定を支えるKPI管理とBSC～ ・パネル討論と総合質疑 ・閉会あいさつ : 木村英紀 (横幹連合 会長) 	
第 22 回	<p>シリーズ : 経営の高度化に向けての知の統合 ～シリーズ第 4 回 経営シミュレータを目指して～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ : 桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・松井正之 (電気通信大学教授) : 新企業マネジメント法 : 利益最大化、ペア理論からポスト BSC へ ・岡田幸彦 (筑波大学講師) : “サービス生産性シミュレータ” の可能性 : 管理会計の視点から ・角埜恭央 (東京工科大学教授) : 経営シミュレータとデータ ・椿 広計 (統計数理研究所/筑波大学教授) : 経営シミュレータの要素 : 4 回のフォーラムを総括して ・総合質疑・パネル討論 ・閉会あいさつ : 木村英紀 (横幹連合 会長) 	2009.10.1
第 23 回	<p>社会・経済・金融を理解する数理工学の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ : 桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・合原一幸 (東京大学教授) : 脳数理工学と経済 ・大庭昭彦 (野村証券金融工学研究センター主任研究員) : お金に関する新しい数理科学 — 行動ファイナンスと伝統的経済学の融合 ・増田直紀 (東京大学准教授) : 複雑なネットワーク上の伝搬ダイナミクス — つながりの展開と変容 ・藤井眞理子 (東京大学教授) : 金融危機の真因と複雑性 — シミュレーションで探る失敗のメカニズム ・閉会あいさつ : 舘暲 (横幹連合 副会長) 	2009.11.17
第 24 回	<p>21 世紀のモノづくり革新をめざして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会あいさつ : 桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・荒井栄司 (大阪大学大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻教授) : グローバル環境化におけるモノづくり革新 ・小畑外嗣 (パナソニック電工(株)参与) : 21 世紀も勝つモノづくり ・中原俊憲 (三菱自動車工業(株) MiEV 商品生産化プロジェクト プロジェクトマネージャー) : 電気自動車の量産技術 — 自動車におけるモノづくり技術の革新— ・鈴木和幸 (電気通信大学 システム工学科教授) : 品質と信頼性の観点から見たモノづくり革新 ・持丸正明 (産業技術総合研究所 デジタルヒューマン研究センター 副センター長) : 人間中心のモノづくり — デジタルヒューマン技術の最先端— ・パネルディスカッション ・閉会あいさつ : 舘暲 (横幹連合 副会長) 	2010.1.29
第 25 回	<p>3D とバーチャルリアリティの最近の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 : 桑原洋 (横幹技術協議会 会長) ・第 1 部 3D と VR の現状を探る 河合隆史 (早稲田大学) : 3D エクスペリエンスへのアプローチ 大場省介 (ソニーPCL) : ソニーの 3D 映像への取り組み 澤田一哉 (パナソニック電工) : ドーム型 3D 映像提示への取り組み 	2010.4.5

	<ul style="list-style-type: none"> ・第2部 3D と VR は日本のこれからの成長産業となるか 廣瀬通孝（東京大学）：バーチャルリアリティとデジタルコンテンツ 館暲（慶應義塾大学）：実世界を指向したバーチャルリアリティの展開 ・総合討論 ・閉会挨拶：木村英紀（横幹連合 会長） 	
第26回	<p>シンポジウム『知の統合』にむけて～社会的役割と具体的事例～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：金澤一郎（日本学術会議会長） ・第1部「知の統合」の社会に果たす役割 木村英紀（工学基盤における知の統合分科会委員）：総論1 「知の統合」と横幹科学技術 笠木伸英（工学基盤における知の統合分科会委員）：総論2 「知の統合」のためになすべきこと 立本成文（総合地球環境学研究所長）：総論3 社会のための科学としての「知の統合」 架谷昌信（工学基盤における知の統合分科会委員）：総論4 「知の統合」による科学・技術の促進 ・第2部「知の統合」に向けての具体的な取り組み 西島和三（持田製薬(株) 医薬開発本部・専任主事/東京大学 農学生命科学研究科・特任教授）：バイオ研究から見た「知の統合」 鈴木克徳（金沢大学フロンティアサイエンス機構特任教授）：持続可能な社会づくりに向けた「知の統合」 川村貞夫（工学基盤における知の統合分科会委員）：「知の統合体系化」に向けて 原辰次（工学基盤における知の統合分科会委員）：「知の統合推進」に向けて ・閉会にあたって：矢川元基（総合工学委員会委員長） 	2010.5.21
第27回	<p>将来社会創造アプローチの展開（1）～未来構想化の事例と方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・藤野純一（国立環境研究所主任研究員）：低炭素社会はどんな社会か？～ビジョン構築とその定量化手法～ ・大澤幸生（東京大学教授）：眠っているドラゴンを起こす2つのゲーム～都合学からのチャンス発見アプローチ ・山口浩：予測市場と集合知メカニズムの現状と展望 ・板倉真由美（日本 IBM(株)部長）：イノベーションを生み出す IBM の取り組み～リサーチの視点から～ ・総合討論 将来構想化のレシピ 司会：太田敏澄（電気通信大学 教授） ・閉会にあたって：木村英紀（横幹連合 会長） 	2010.7.30
第28回	<p>将来社会創造アプローチの展開（2）～市民との対話による未来構想化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・高橋真吾（早稲田大学教授）、田原敬一郎（未来工研研究員）：対話のシステム方法論～状況とステークホルダーの多様性への多元的アプローチ ・佐々木良一（東京電機大学教授）：IT分野におけるリスクコミュニケーション支援ツールの開発とその展開 ・菱山玲子（早稲田大学准教授）：専門家と市民の協同による 21 世紀型問題解決デザイン：科学技術コミュニケーションのための参加型アプローチ ・守谷学（経済産業省商務情報政策局プロジェクト推進室室長補佐）：経済産業省におけるオープンガバメントの取り組みについて ・総合討論：司会山本修一郎（名古屋大学 教授） 	2010.10.4

	<ul style="list-style-type: none"> ・閉会にあたって：館璋（慶応義塾大学 教授） 	
第 29 回	<p>知の新しい活用法を求めて～実践と理論の連携～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・平井成興（千葉工大）：本企画のねらいについて ・西田佳史（産業技術総合研究所デジタルヒューマン工学研究センター チームリーダー）：見守るデジタルヒューマン：実践的知識活用の事例 ・溝口理一郎（大阪大学教授）：オントロジー工学：知識の体系的整理と工学的活用への挑戦 ・松本吉央（産業技術総合研究所サービスロボット研究 グループリーダー）：生活機能構成学：ロボット活用社会の将来像を求めて ・総合討論：司会 平井成興（千葉工業大学），パネラー 講師，館璋（慶応義塾大学） ・閉会にあたって：木村英紀（横幹連合 会長） 	2011.1.19
第 30 回	<p>知の統合による経営の高度化に向かって～未来経営の構想と技術課題～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・椿広計（統計数理研究所教授）：シナリオ経営研究計画の概要 ・白井宏明（横浜国立大学教授）：未来の経営を体験するためのゲーミング・シミュレータ構想 ・松井正之（電気通信大学教授）：リアルタイム経営と流動面管理法開発 ・総合討論：司会 船橋誠壽（横幹連合事務局長），パネラー 講師の皆様 ・閉会にあたって：松井正之（電気通信大学教授） 	2011.3.22
第 31 回	<p>企業における事業継続計画（BCP）の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・丸谷浩明（（財）建設経済研究所研究理事，NPO 法人事業継続推進機構理事長）：事業継続計画（BCP）の概要と今回の震災を踏まえた最新動向 ・天野明夫（大成建設㈱ライフサイクルケア推進部主事，早稲田大学 WBS 研究センター特別研究員）：医療機関における業務継続に関する支援技術 ・渡辺研司（名古屋工業大学大学院工学研究科社会工学専攻教授）：官民連携による地域型 BCP 推進の重要性 ・総合討論：司会 中野 一夫（㈱構造計画研究所 シニアアドバイザー），パネラー 講師の皆様 ・閉会にあたって：出口光一郎（横幹連合 会長） 	2011.9.27
第 32 回	<p>情報共有による社会インフラの強靱化～システム技術の新たな挑戦課題～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会会長） ・目黒公郎（東京大学教授）：強靱な社会インフラを実現するための情報マネジメントの考え方 ・古田一雄（東京大学教授）：レジリアンス工学：リスクマネジメントのシステム論的展開 ・総合討論：司会 船橋誠壽（横幹連合） ・閉会にあたって：出口光一郎（横幹連合会長） 	2011.12.9
第 33 回	<p>強いぞ日本～社会情報学の視点から東日本大震災からの復旧・復興を考える～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会会長） ・戒正晴（明治学院大学教授／弁護士）：東日本大震災からの復旧・復興における法的諸問題 ・柴田邦臣（大妻女子大学准教授）：東日本大震災におけるボランティア実践 ・遠藤 薫（学習院大学 教授） 日本の災害復旧・復興における強さと課題 	2012.1.31

	<ul style="list-style-type: none"> ・総合討論：司会 櫻井成一郎（明治学院大学） ・閉会にあたって：出口光一郎（横幹連合 会長） 	
第 34 回	<p>東日本大震災からの復興現場における支援活動～次世代に向けた日本の街づくりとして我々は何ができるのか～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・大場光太郎（産業技術総合研究所）：気仙沼～絆～プロジェクトからの震災復旧・復興における問題点の提起 ・工藤雅教（Civic Force）：中間支援団体としての東北復興支援 ・若生裕俊（（社）復興屋台村気仙沼横丁理事）：被災地の復興「復興屋台村の立ち上げの活動を通じて」 ・原田英世（（株）カンバーランド・ジャパン）：被災地へのトレーラーハウス導入支援と日本版 FEMA に関して ・総合討論：司会 谷川民生（産業技術総合研究所） ・閉会にあたって：出口光一郎（横幹連合 会長） 	2012.5.10
第 35 回	<p>エネルギーマネジメントの新しい局面～社会システムの構築段階を迎えて～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・藤田政之（東京工業大学大学院理工学研究科教授）：エネルギーマネジメントとシステム制御 ・飯野穰（（株）東芝スマートコミュニティ技術部主幹）：スマートコミュニティにおけるエネルギーマネジメントと技術課題 ・松川 勇（武蔵大学経済学部教授）：家庭部門における電力のデマンドレスポンス ・荻本和彦（東京大学エネルギー工学連携研究センター特任教授）：エネルギーシステムインテグレーション ・総合討論： 司会 藤田政之 ・閉会にあたって：安岡善文（横幹連合 副会長） 	2012.7.11
第 36 回	<p>アート・デザイン・テクノロジー～近くて遠いその関係～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原洋（横幹技術協議会 会長） ・原島博（東京大学名誉教授）：全体講演～なぜ近くて遠いのか？～ ・河口洋一郎（東京大学教授）：アートの立場から ・須永剛司（多摩美術大学教授）：デザインの立場から～2つの知性を循環させること～ ・岩田洋夫（筑波大学教授）：テクノロジーの立場から～技術の本質を表現内容にするデバイスアート～ ・総合討論：司会 岸野文郎（横幹連合産学連携委員会委員） ・閉会にあたって：出口光一郎（横幹連合会長） 	2013.1.29
第 37 回	<p>「未来学」の過去・現在・未来</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開会にあたって：桑原 洋（横幹技術協議会 会長） ・林光（創造工房ナレッジファクトリー 代表、日本未来学会理事）：半世紀前の未来学ブームと未来学の今日的意義～来たるべき新世界へ、未来学の果たす役割～ ・古田隆彦（現代社会研究所所長、日本未来学会会員）：人口波動で未来を読む～人口減少要因への学際的アプローチ～ ・和田雄志（日本未来学会 事務局長、未来工学研究所理事）：超高齢化社会の近未来シナリオ～大規模団地再生から日本の未来が見える～ ・質疑応答 司会：和田雄志 	2013.3.12

・閉会にあたって：平井成興（横幹連合産学連携委員長）	
----------------------------	--

横幹技術協議会との連携は、主として産学連携委員会が対応してきた。この連携により、横幹連合にとっては、時代要請を学ぶとともに新たな課題挑戦へのきっかけを得てきている。さらに重要なことは、横幹技術協議会によって横幹連合の財政的な基盤が支えられてきたことである。あらためて感謝の意を表したい。